



げんきな子 がんばる子 やさしい子

園だより

6月号

北区立さくらだこども園
園長 西澤尚子

園庭のあんず

さくらだこども園の園庭に何本かのアンズの木があります。5月になり段々と実が熟し、落果し始めたので、ネットを張って完熟のアンズの実の収穫を試みています。

ネットを張ると早々に、ネットにたまってきたきれいなアンズを集めて、担任と一緒にみんなで職員室に持ってきて、栄養士の先生に「美味しくしてください！」とお願いする様子がありました。この学級は数週間前にまだ青いうちに地面に落ちたアンズを集め、その時も栄養士の先生に「食べられますか」と聞きに来ていました。「青い実はまだですね。みかん色になったら食べられるのよ」とそのときに教えてもらい、みかん色になるのを心待ちにしていた子どもたちです。

アンズの実は今、子どもたちの絶好の遊び道具になっています。ミニ包丁で切って実の中の様子を見てみたり、砂場で料理の材料にしたり、すり鉢で擦ってジュースを作ってみたり、色水遊びの材料にしたり。アンズを保存するために凍らせると聞けば、自分たちのアンズジュースも先生に頼んで冷凍庫に入れてもらい、アンズジュースがちゃんと凍ったことに歓声を上げ、容器から出すのにも思い思いの方法で試し、取り出せた半分透き通ったきれいな氷ジュースを喜んで眺めていました。

様々な試しと発見がある一方で、ネットにたくさんたまってきたアンズは魅力的で、自分を取りたいとの思いにもつながります。「これは少し傷がついている」「これは食べるのはどうかな」と理由を見付けて、アンズをネットの中から自分で持って行った遊び用のバケツに取り分けていました。園にあるものは子どもたちのものなので、いろいろな遊びにたくさん使っているもの、ではありますがネットの中から取るのは…、と教師としては悩ましいところでしたが、みんなの分を集めるためにネットを張ってある、と各学級で話をしていることを思い、止めに行きました。

魅力的な環境は楽しさとともに、幼児の中に「どうしようかな」という迷いが生じます。(迷ってほしいと思っています) 行動してみてその結果を自分で受け止め、気持ちを調整していく力を育てていけるようにと考えています。楽しくて、してみたいことがあるからこそ、育つ力だと考えます。そして、楽しいこと、好きなことを存分に楽しむために、周りの人のことも考えてみる機会をつくっていきます。子どもたちの心持ちを育てるために、園ではこれからも子どもたちの「してみたい！」を引き出す環境を考えていきます。

ご家庭で、お子さんの大好きなことを見付けたら、ぜひ、園に教えてください。

— 今月の指導のめあて —

- < 4歳児 >
- ・自分の好きな遊びをする中で、自分なりの動きや言葉で思いを表そうとする。
 - ・教師や友達に親しみや関心をもって関わり、学級のみんなで遊ぶことを楽しむ。
 - ・色水や水を使った砂遊びなどの様々な水遊びをする中で、水に触れる心地よさや面白さを感じる。
- < 5歳児 >
- ・自分がしてみたいと思ったことやイメージの実現に向けて、考えたり試したりすることを楽しむ。
 - ・自分の思いや考えを相手に言葉で伝え、相手の返事を聞き、受け止めたり一緒に考えたりしようとする。
 - ・水を使って遊ぶ中で、心地よさを感じたり、面白いと思ったことに繰り返し取り組んだりする。

